

活動内容:国際学会での発表

さまざまな刺激を受けた国際学会

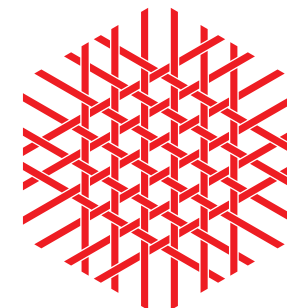
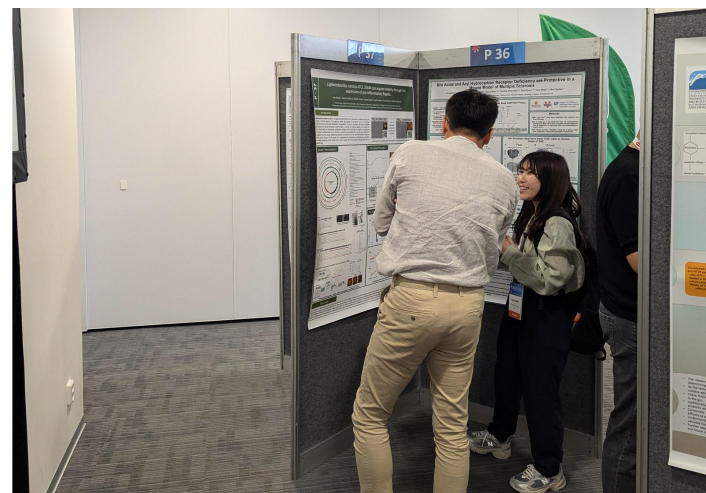
三崎 彩 (博士前期課程 2 年)

渡航先:チェコ共和国・プラハ

17th International Scientific Conference on Probiotics,
Prebiotics, Gut Microbiota and Health - IPC2024

私は、チェコ共和国で開催されたInternational Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Healthにてポスター発表を行いました。本学会は民間企業と研究機関の割合に偏りなく、参加者地域も欧州・アジア圏・アメリカと幅広い学会でした。国内学会との違いとして、口頭発表において冗談を交えながらより楽しそうに話しているのが印象的でした。発表者自身も楽しんでいるし、聴衆者側をも楽しませよう引き寄せようとしているのを感じました。ポスター発表の際にもフランクに話しかけてくれて話しやすかったです。また、発表会場の外には、軽食と飲み物が用意され気軽にディスカッションできるエリアが設けられており、実際にポスター発表時間外にも追加で質問をしてもらいお話できたことも有意義な時間となりました。

内容は、人を含む動物腸管の常在菌として知られている乳酸菌*Ligilactobacillus ruminis*という菌種について発表しました。本菌種は、プロバイオティクスとして有用という報告がある一方で、腸内における占有率がいくつかの疾患との相関関係



があるとの報告がありますが、その因果関係は明らかにされていません。よって本研究では、一般的に細菌が炎症誘導作用を示す要因であるべん毛に着目し、宿主の炎症応答との関連について調べました。

発表では、自身の英会話力の無さとその勿体なさを痛感しました。質問に対し、微妙なニュアンスを伝えるのが難しく、もっと英語力があれば上手く伝えられたと思う場面が複数回ありました。研究者の優しさに救われた部分が多くありました。

私は来年度から、メーカーの研究職に就く予定です。海外に子会社の研究所を持っている点や大学等との共同研究を行なっている点からも、研究職にて活躍するために英語は必須になると考えられるので努力を続けます。

本学会に参加したことは、研究へのモチベーションの向上にも繋がりました。ご支援していただいたことに対して感謝申し上げます。